関西学院大学教職員向け

性的指向・性自認（SOGI）の多様性に配慮した教育・研究に関する基本方針とガイドライン

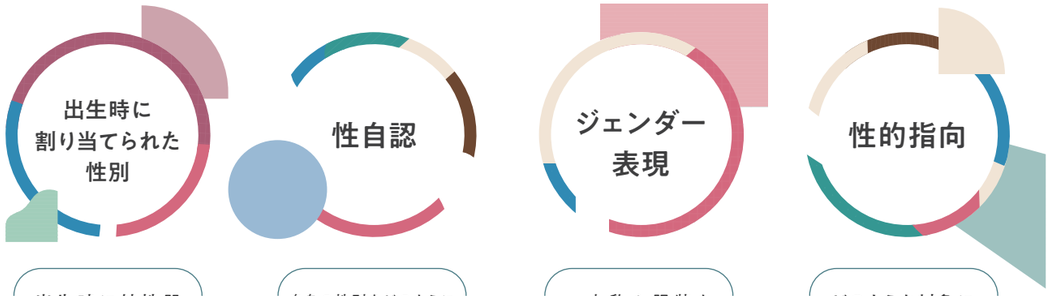
ガイドライン本編（日本語／English）はWebから



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

本ガイドラインでは、特定のマイノリティだけではなく、すべての人が互いの性のあり方を尊重するという考えのもと、SOGI（ソジ）という言葉を使用しています。

性の多様性とは



出生時に割り当てられた性別	性自認	ジェンダー表現	性的指向
出生時に外性器などの身体の性的特徴をもとに割り当てられた性別	自身の性別をどのように認識しているか、性別に関してどのようなアイデンティティを持っているか	一人称や服装など、社会生活の中で自身の性別をどのように表現するのか	どのような対象に性的に魅力を感じるのか、感じないのか

それぞれの要素自体が多様で、またその組合せも多様です。

当事者は必ず身近にいます

人口の10.6%が性的少数者※だという調査結果があります。すなわち、授業でもゼミでも、約10人に1人LGBTQ+の学生がいるということ。関西学院大学全体では約2,400人の計算になります。多くの学生と接する教職員として、常に当事者の学生の存在を前提とすることが大切です。異性愛や性別二元論を前提とせず、SOGIの多様性に配慮した言動をとりましょう。

※電通グループ「LGBTQ+調査2026」より



多様な性のあり方

SOGI

性的指向（Sexual Orientation）と性自認（Gender Identity）の頭文字をとった略称

LGBTQ+

- **レズビアン**：女性同性愛者
- **ゲイ**：男性同性愛者
- **バイセクシュアル**：両性愛者
- **トランスジェンダー**：出生時に割り当てられた性別と性自認が異なる人
- **クエスチョニング**：性的アイデンティティが定まっていない人
- **クィア**：規範的な性のあり方に沿わないこと

▶それだけでない、多様な性

- **シスジェンダー**：出生時に割り当てられた性別と性自認が一致している人
- **ノンバイナリー**：性自認が男性・女性のいずれかにはあてはまらない人
- **アセクシュアル**：他者に性的惹かれを抱くことがない人
- **アロマンティック**：他者に恋愛的惹かれを抱くことがない人
- **パンセクシュアル**：相手の性別に限定されず性的惹かれを経験しうる人
- **ヘテロセクシュアル**：異性に性的惹かれを抱く人

見直してみよう 配慮・対応の基本

以下は、SOGIの多様性を尊重しながら学生と接するための基本です。関西学院大学の教職員として、学内外での教育・研究活動においてこれらを心がけましょう。

1 常にLGBTQ+の学生や同僚がいることを前提に。



2 差別的な言葉やジェスチャーを使っていませんか？



3 出席者を呼ぶ際は、呼称に注意。

性別に左右されない呼称を用いたり、個々の希望を尊重したりしましょう。



4 不必要に性別を確定しようとしない。

登録上の性別と本人の性自認が異なることがあります。名前や服装、外見などで性別を決めつけないようにしましょう。また、性別によって学生や同僚を区分することも避けるべきです。



5 守秘を徹底する。

性別や性的指向などに関する情報が、本人の意図しない形で公表されることのないよう気を付けましょう。通称名を使う場合は、本人の呼ばれたい名前を尊重してください。不必要に本名が暴露されないよう、情報は慎重に取り扱いましょう。

相談窓口 学部・研究科事務室

学生から相談を受けたら……

性に関する事柄は、学生の生活・生命に深くかかわる問題。寄り添う気持ち、理解しようとする姿勢を示すことが重要です。



具体的な対応方法、事務室への相談方法はガイドラインをご確認ください。

性的指向・性自認（SOGI）の多様性に配慮した教育・研究に関する基本方針とガイドラインについて（教職員向け）

Basic Policies and Guidelines Concerning Education and Research to Accommodate Diversity in Sexual Orientation and Gender Identity (SOGI)_To Faculty and Staff at Kwansei Gakuin University

インクルーシブ・コミュニティ宣言

関西学院は、ダイバーシティ（多様性）を力とする「垣根なき共同体」を目指して、2010年9月に「インクルーシブ・コミュニティ宣言－インクルーシブ・コミュニティ構築に向けて」（2014年3月改訂）を制定しました。その中で、関西学院というコミュニティに集うすべての者（学生・生徒・児童・園児・教員・職員・同窓・その家族）が、コミュニティ内の性別、年齢はもとより、国籍、人種、民族、出生地、主たる言語、宗教・信仰、身体的・精神的特徴、そしてセクシュアリティといった違いを尊び、それぞれの能力を発揮できる環境づくりに向けて努力していくことを宣言しています。
また、インクルーシブ・コミュニティを実現するため、「インクルーシブ・コミュニティ実現のための基本方針と行動指針」を2020年4月1日に策定しました。

関西学院大学では、LGBTQ+やSOGI尊重のため、「関学レインボーウィーク」や「SOGI（アライ）研修」などの取り組みも行っています。詳しくはWebをご覧ください。

※宣言全文もWebからご確認いただけます。

関連情報

キャンパス自立支援室

各学部と連携して、配慮を必要とする学生の個別のニーズに対応した修学支援を提供しています。

保健館

学生や教職員の皆さんの健康生活を支援すると共に、健康診断の個別対応など健康に関するあらゆる相談に対応しています。

相談窓口 0798-54-6035

キャンパス・ハラスメント等相談センター

学生や教職員が個人として尊重され、人権を阻害されることなく就学、教育、研究及び就労ができるよう活動するセンターです。専門相談員がハラスメントに関連する相談を受け付けています。

人権教育研究室

人権教育科目の開講や人権問題講演会の企画・開催、関学レインボーウィークの開催など、人権啓発活動を行っています。また「LGBTQ+卒業生たちのライフストーリー集」を出版しています。

バリアフリーマップ

Webのアクセスページに各キャンパスのバリアフリーマップを掲載しています。多目的トイレの設置場所等を確認することができます。

